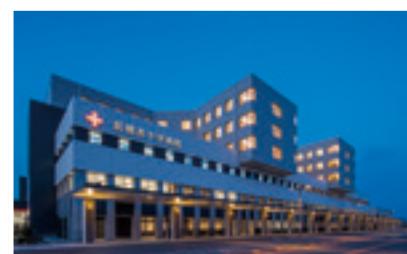


前橋赤十字病院 新病院開院のお知らせ

前橋赤十字病院は今年の6月1日、朝倉町へ新築移転いたしました。新病院のコンセプトは「みんなにとってやさしい、頼りになる病院」です。平常時はもちろん、救急や災害などの緊急時に頼りになる病院となれるように、新病院では①救急医療、②災害医療、③がん診療を強化しています。民間病院では初となる自衛隊双発ヘリの離着陸が可能な地上ヘリポートを整備しました。

当院は1923年の関東大震災をはじめ、1985年の航空機墜落事故、2011年の東日本大震災など多くの災害現場で救護活動を行ってきました。県内はもとより関東近県における災害医療を担う基幹災害拠点病院として、また北関東唯一の高度救命救急センター、群馬県ドクターヘリ基地病院などの救急医療の中心病院として、これまで以上に信頼され、安心・安全の拠り所となる病院を目指します。



最近の赤十字の動き

1 防災・減災研修

地域で活躍する赤十字ボランティアが、今後発生しうる災害に対して避難の仕方など図上訓練として学びあっています。このように、平時からの連携を強化・促進するとともに、防災研修を展開することで、地域の自助、共助の力を養う取り組みを推進しています。



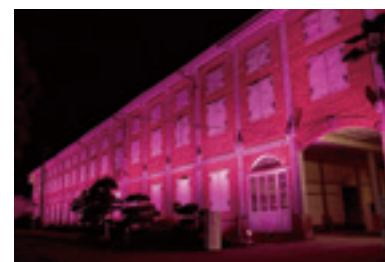
2 災害救護訓練

近い将来、発生が懸念される首都直下地震や南海トラフ地震。日本赤十字社は、医療救護活動を行う人材養成、日赤災害医療コーディネートチームの能力を向上し、災害発生時には迅速に派遣できる体制を整えるため、日々訓練を行っています。



3 レッドライトアップ運動

世界のあらゆる地域、そして日本国内で、赤十字の人道支援活動は続いています。苦しみの中にある人を皆で救っていく、この赤十字の理念を伝えるために、さらには活動に参加して下さる方を1人でも多く増やしていくために、「レッドライトアップ」運動が実施されました。富岡市協力のもと、「富岡製糸場」がライトアップされました。



ぐんまの赤十字

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

発行：日本赤十字社群馬県支部 〒371-0833 前橋市光が丘町32-10 電話 027-254-3636
URL <http://gunmajrc.dsbsv.net/>

第20号

平成30年10月1日



130周年 Anniversary 特集号

日本赤十字社群馬県支部は県民の方々に支えられ、創立130周年を迎えることが出来ました。また、今年6月には前橋赤十字病院が移転し、新しく生まれ変わり、災害拠点病院としてさらなる期待を寄せられています。赤十字はこれからも「苦しんでいる人を、救う」活動をつづけていきます。





県中学校トレーニングセンターの様子(草津 天狗山)



家庭看護法の様子



初代委員長 佐藤与三



群馬県支部旧社屋(1926～1991)



献血の様子



発足当初の事務所(1893～1926)



群馬支部病院(1913)



前橋駅前に整列した救護看護婦(第2次世界大戦で救護活動 1937)



原町診療所(1952)



現地向かう救護班(御巣鷹山 1985)



群馬県支部現社屋(1991～)



救援物資を搬送する職員(阪神淡路大震災 1995)



関越道での事故の様子(2012)



接骨師奉仕団のサポートによる救護活動(新潟県中越沖地震 2007)



AED講習開始(2005)



ドクターヘリで現地へ向かう救護班(草津白根山噴火災害 2018)



救護所での診療(熊本地震 2016)



被害状況を救護班に伝える先遣隊(東日本大震災 2011)

日本赤十字社
群馬県支部

130年の
あゆみ